



兵庫の建築  
Architecture of  
HYOGO

## ドウダンツツジの但馬安国禅寺 兵庫県景観形成重要建造物等2022年指定

竣工年 明治初期

所在地 豊岡市但東町相田

豊岡市但東町を通る国道426号線から県道252号線を少し入った田園と山々に囲まれたのどかな山裾に建つ。本堂裏山のドウダンツツジは初夏の緑から秋には真っ赤に色づき障子を開け放した奥に見える鮮やかさは額に入った絵画と言われ県内外から訪れる多くの人々を迎えている。交流人口の少ない当地においても賑わいを見せ地域住民とのふれあいの場となっている。但馬地域の近代禅宗寺院の姿を伝える建物と地域によって守られたドウダンツツジが一体となり美しく景観のシンボルとして指定された。参拝客を本堂で迎えているが明治初期に建てられ雪深い土地柄永年風雪にさらされ老朽化が進み雨漏りや構造的な不安解消を余儀なくされ



全景

2023年に屋根葺替や構造補強、向拝の新設、建具や内装の改修、そして四季折々に姿を変えるドウダンツツジが映る床の一部を鏡面としており訪れる人々の安全と共に一層楽しんで頂けることでしょう。

文・写真：大林守（豊岡支部）



新しく増築された向拝



回廊とドウダンツツジ



本堂内観



鏡面の床に映るドウダンツツジ

目次	P.1	兵庫の建築・ドウダンツツジの但馬安国禅寺
	P.2	令和6年度 浸水被害住宅技術対策マニュアル講習会 報告
	P.3	第42回 近畿建築祭「しが大会」 報告
	P.4	第38回 構造セミナー 報告

**メール配信と名簿のご案内**  
「集 tsudoï」誌面に掲載できない情報などを「兵庫県建築士会メールニュース」として配信しています。受信希望の方はホームページからメール配信登録をください。またホームページの名簿への掲載を希望される方は会員建築士名簿のページからお手続きください。





## ■具体的な現場での対応と事例を交えた講習会

昨今の地球規模の気候変動により、全国的に豪雨や台風による水害が多発し、過去に例を見ない被害をもたらしております。また水害により冠水した住宅は復興と生活再建の大きな妨げになっております。

この状況を鑑み、日本建築士会連合会は令和4年、「建築士会の災害対策」において、建築士が災害支援活動を行うことの理念、目的、内容を発表し、併せて水害による住宅被害対策のための「浸水被害住宅技術対策マニュアル」を策定しました。

連合会では、これを用いて、建築士が浸水被害対策に貢献できるよう建築士向けに講習会を推奨しており、当会においてもこれを実施することとしました。

講習にあたり、講師は和歌山県建築士会副会長の中西重裕様をお願いしました。

中西様は連合会の災害対策委員でもあり、災害対策に大変精通されている方です。



講習風景

講習はまず連合会での取り組みに始まり、建築士による水害対策の中心となる、浸水被害住宅のトリアージ、洗浄、乾燥、消毒、構造補強などの具体的な現場での対応をご説明いただきました。写真による事例紹介も交えた大変臨場感のあるお話でした。

さらに、建築士の重要な役割である、被災住民向けの相談会など、被災後の復興、生活支援についてご説明いただきました。

復興支援には建築士会のみならず地方自治体や他団体との連携、体制作りが重要です。これについても、長野県や徳島県などの事例を紹介いただきました。

最後に中西様自身もかかわっている和歌山県での応急仮設住宅供給支援や歴史的建造物の復旧支援の取り組みをご紹介いただきました。平成23年に発生した紀伊半島大水害以来、着実に対策を重ねている和歌山県の取り組みに大変感銘いたしました。



講習風景

兵庫県建築士会においても、本年度より災害対策委員会が発足し、災害対策への取り組みが本格的に始まりました。

この度の講習会を機会に、あらためて会としての災害対策への取り組みと、建築士自身のスキルアップの重要性を痛感した次第であります。

文：横本 光展（研修委員会） 写真：石田 敦（神戸支部）

## ■浸水被害住宅技術対策マニュアル講習会 開催概要

- 日 時：令和6年9月7日(土) 14:00～16:30
- 会 場：兵庫県中央労働センター + オンライン
- 参加費：会場…会員 2,000円 非会員 3,000円 オンライン…会員 非会員共 2,000円
- 講師：中西 重裕氏（和歌山県建築士会副会長）
- 参加者：会場 14名 オンライン 12名
- 主催：研修委員会

## ■テーマ：琵琶湖 大津を翔る～まちを知り、歴史を重ねる建築士～

### 式典・建築士フォーラム

常峰 博文 (神戸支部)

セッションでは、「まちへくり出す建築士」というテーマのもと、ファシリテーターの倉方俊輔（大阪公立大学教授）氏から自身の監修された“東京建築祭”の紹介があり、その後各パネラーから活動報告があった。近建青からは新築、改修、まちあるきを取込んだ見学会への変遷について、近建女からは“魅力ある和の空間”の見学の成果をデータ化し、日常業務に生かして地元へ還元することについて、まちづくり部会からは発足した2018年からの“まちづくりセミナー”について、開催地の滋賀県士会からは“近江八景と東海道でつながる近江八景の景観づくり”の報告があった。これらの報告をもとに地域への関わりかた方、見える化の必要性、今後の展望など意見交換が行われた。



フォーラムの様子

### ■各エクスカージョンの報告

#### A 紫式部ゆかりの石山寺巡拝と琵琶湖クルーズ 吉元 賢吾 (北播磨支部)

石山寺巡拝で、国宝の本堂は、崖上にせりだした懸造りで、多宝塔は、檜皮葺の優美さのある建造物でした。次に、琵琶湖クルーズでは、近江八景の昔と今を堪能しました。本日は、参加者、スタッフ、ガイドの皆様へ、お世話になりました、ありがとうございました。



石山寺

#### B 琵琶湖クルーズと紫式部ゆかりの石山寺巡拝 宮宅 勇二 (加古川支部)

琵琶湖の成り立ちや歴史等の解説をセッションでパネラーの一人として登壇された谷会員にいただき、その造景の深さをかい間見る事ができました。2時半頃に石山寺に到着し、ボランティアガイドに説明を受けながら、石山寺境内を散策致しました。石山寺は御存知の通り、源氏物語を描いた紫式部ゆかりの寺ですが、国が所有している数少ないお寺の一つだったのには驚かされました。



船上より瀬田の唐橋を望む

#### C 琵琶湖疎水散策と三井寺拝観 金時 裕 (明石支部)

金時 裕 (明石支部)

琵琶湖疎水散策より三井寺拝観に移ります。滋賀県で有名な寺で一度行ってみたかった。ここには国宝が4つと12の重要文化財建造物があるようで、最初の門が立派で木の古さがなんともいい。境内は広く建造物も多くありました。また、琵琶湖を一望できる展望台もあり、いくつも楽しめる寺でした。その後は大津歴史博物館へ。ここで疎水路の京都のつながりが解説されていました。鉄道との関係で水路の位置変更を現在に至っている。琵琶湖側のトンネルをぬけると開渠が続き京都につながる。初期は物資を運ぶ、水で発電をする、今では観光になっている。時代に沿った利用になっているのが興味深かった。



三井寺

#### D 石積みと里坊のまち坂本めぐり 水上 健治 (南但支部)

水上 健治 (南但支部)

会場から徒歩と電車で「坂本比叡山口」へ行きガイドさんに伝建地区内の「そば屋」や街道沿いの町並み、滋賀院門跡の「穴太積み」を詳しく聞き、滋賀院を散策して、「日吉大社」では神話からの歴史を聞き、「旧竹林院」では国指定名勝庭園を、磨いた座卓面に映した景色を堪能しました。



旧竹林院

#### 青年部会 近畿あーきてくと Vol.32 地域実践活動の転換 挑む！パラダイムシフト

鵜原 正和 (明石支部)

近畿あーきてくと vol.32 に参加して参りました。滋賀県大津市の浜大津港から、船で琵琶湖内の有人島、沖島へ。沖島で活動されている建築家 芦澤竜一先生と一緒に、活動の内容や、沖島の生活、抱えている問題について学びました。講演、街歩き、グループワークでの考察と充実した1日でした。



講演会の様子



■兵庫県構造計算適合性判定の留意点（その5）

適合性判定業務に関する講習会アンケートの回答を畠氏よりご説明頂きました。平成19年に運用を開始し17年近くとなっております。審査の改善を行いながら取り組まれており、アンケートの回答はわかりやすく理解しやすかったです。

また、適合性判定による近年の指摘事項を四宮氏よりご説明頂きました。本来であれば考慮しないといけない内容でもあると思いますが、詳細な検討が抜けている現状も理解できました。



セミナー風景

当事業も適合性判定の留意点として5回目となりますが、開催の度に内容も詳細になり理解しないといけない内容になっていると思います。

当事業は引き続きの開催を予定しておりますが、より多くの方々にご参加頂き理解を深めて頂ければと考えています。

■これだけは押さえておきたい“事例で学ぶ免震構造”

今回は、新に免震構造について、能勢建築構造研究所の久保先生に講義して頂きました。

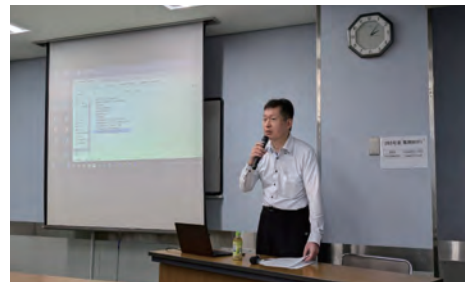
免震構造の通常構造との違いからメリット・デメリットを比較しながらの説明で、採用建物の規模などで選択肢がたくさんある事が理解できました。

採用計画等は、意匠担当者にもう少し理解頂き採用相談があればよいと思いました。

個人事務所では計画する事が、少ないが現在の地震の頻度や危険性から考えると、採用をした方が良いとの判断も考慮しないといけないかもしれません。

後半講義では、事例を示して頂きながらの説明して頂きました。規模の違った建物を申請的な違い含めた説明でしたので、わかりやすく理解しやすかったと思います。

文：山本 幸治（構造研究会） 写真：正木 恵子（構造研究会）



講師 畠氏



講師 四宮氏



講師 久保氏

■「構造セミナー」開催概要

■ 日	時	令和6年9月21日(土)	14:00~16:30
■ 会	場	神戸市教育会館 203号室	
■ 内	容	兵庫県構造計算適合性判定の留意点(その5) 畠様・四宮様 これだけは押さえておきたい“事例で学ぶ免震構造” 能勢建築構造研究所 久保様	
■ 参	加	費	会員 2,500円 非会員 3,500円
■ 主	催	構造研究会	

令和6年9月21日開催